

◆各教科・領域等活動の具体的な留意点

共通	<p>◆ マスクを常時着用する。屋外の体育時や、屋外活動でマスクを外すときは、<u>2m以上離して活動</u>させる。<u>マスクを外しているときは話をしないことを徹底する。</u></p> <p>◆ 共有の遊具・道具等は<u>使用前後、必ず手をよく洗うかアルコール消毒</u>をする。</p> <p>◆ 教室では、机と机の間隔をあけて(<u>市松模様</u>)、前向きで授業や給食時間を過ごす。</p> <p>◆ 隣同士の意見の交流は、自分の考えを書き留めてから、一定の距離を保って実施する。<u>声の大きさに注意し、短時間で交流する。</u>グループでの話し合いは机の間隔を十分確保したり、飛沫防止卓上スタンドを活用したりすれば、可能。</p> <p>◆ コ形など、児童が向き合う話し合いの形は当面見合わせ、個人やペアの考えを短冊に記入し黒板に貼るなどして、意見を共有する。また、<u>ICT</u>を効果的に活用することで、お互いの考えを可視化し、対話的で深い学びにつなげる。</p>										
	国語	算数	社会	理科	生活・家庭科	総合的な学習	英語科・外国語活動	体育	音楽	図画工作	道徳科
<p>・単元配列を入替し、「書く」ことが中心の単元を先に、話し合い中心の単元は後に実施する。</p> <p>・範読は、CDを効果的に活用する。黙読を適宜取り入れる。</p> <p>・音読は、必ずマスク着用で行う。</p> <p>列ごとや向きに配慮し、お互いに息がかからないようにする。</p> <p>・本、パンフレット、リーフレット等の作成は、個人で行う。(グループでは行わない)</p> <p>・習字の時間は300mlのふた付きのペットボトルに水を入れて机の上に置き、筆を洗う。</p> <p>・図書室の本の貸し出しは、室内の人数制限と本を選んだ後に手指アルコール消毒の実施をする。</p>	<p>・全体的話し合いでは、発表する児童のみ前に出て発表し、他の児童は自席で聞くことを徹底する。</p> <p>・話し合い活動を精選し、練習問題の時間を十分確保する。</p> <p>・練習問題の評価(○付け)等は<u>児童を並ばせず机間指導で行う。</u></p>	<p>・グループでの話し合い活動は控え、自力での調べ学習の時間を確保する。</p> <p>・ワークシートやプリント教材を準備し、調べ学習に取り組みやすいように配慮する。</p> <p>・社会科見学は見合わせているので、映像教材を活用する。</p> <p>・<u>施設に児童の質問を送り、オンラインで返事をいただくなど、出向かなくても交流できる方法を工夫する。</u></p>	<p>・一人一実験が基本。教室で前向きのまま実施する。または教師の演示実験やICTを活用する。</p> <p>・理科室でグループ観察、実験する場合は、飛沫防止卓上スタンドを活用する。</p> <p>・映像や画像を効果的に活用してイメージをもたせたり、理解を深めたりする。</p> <p>・顕微鏡(特に接眼レンズ付近)やルーペは、使用後にアルコール消毒をする。</p>	<p>【生活科】</p> <p>・スキンシップ的な活動は控え、身体的距離を十分に確保して活動する。</p> <p>・<u>町探検は、秋以降実施を検討するが、難しいときは映像で学習を進める。</u></p> <p>【家庭科】</p> <p>・<u>調理実習は学級を半分に</u>にして行う、<u>材料や道具を一人一つとし、共有しないようにする、また、試食の際は給食と同じルールで行う。</u>または調理の手順を学習し、家庭学習として行う。宿題レポートを提出させ(ポートフォリオ)評価する。</p> <p>・ミシン使用時は<u>前後に手指消毒する。</u>手縫いも教室で実施。※実施前後に必ず針の数を確認し、事故を防ぐ。</p> <p>・家庭科室を使用する場合は、飛沫防止スタンドを活用する。</p> <p>・<u>洗濯実習は一人一洗面器で各自行う。</u></p>	<p>・年度後半はテーマに沿った学習を短縮して実施する。家庭学習を有効に活用する。※<u>ポートフォリオ評価</u>をする。</p> <p>・ICTや視聴覚教材を活用し、個別の調べ学習を多く取り入れる。</p> <p>・<u>コンピュータ室を活用する場合は、前後に手指の消毒をし、飛沫防止スタンドを活用する。</u></p>	<p>・スマイルルームは、当分使用せず、各教室で授業を行う。</p> <p>・コミュニケーション活動は密接にならないように、十分に換気をした上で、1m程度の距離を取って行う。</p> <p>・デジタル教科書でリスニングを進める。</p> <p>・カードづくり等の活動は、当分の間個別活動とする。</p>	<p>・身体的な距離を十分にとり、マスクを外して活動可。</p> <p>身体的な接触が少なくなる活動形態を工夫する。<u>集合・休憩の時に互いの距離を広く取るようにする。</u></p> <p>・<u>体育館で呼気の激しくなるような運動は避ける。</u></p> <p>・<u>準備運動時に校庭でフェンスに沿って時間差で走る活動を取り入れる。</u></p> <p>・短距離走や幅跳びは、<u>待機時の並び方に気を付けて実施可能。</u></p> <p>・身体的な接触が多い通常のルールサッカーやバスケットボール(ポートボール)のゲームは、<u>身体的距離を確保できるルール</u>を児童に考えさせた上で、工夫してゲームを行うのは可能。</p> <p>・ボール・鉄棒・跳び箱・マット運動は活動前後に手洗いや手指消毒をする。</p> <p>・体育着に着替えるときは、密にならないよう時間をずらしたり、更衣室等を使用したりする。</p>	<p>・<u>リコーダー、鍵盤ハーモニカの学習は、学級を2つに分け、児童同士の距離を十分に取ることで短時間練習させることは可能。</u>家庭学習において十分に練習させる。</p> <p>・リコーダーや鍵盤ハーモニカの水ふきや掃除用のハンカチは、ビニール袋に入れてその日のうちに持ち帰らせる。</p> <p>・マスク着用の上ハミングや歌を軽く口ずさむ程度は可。</p> <p>・<u>声を出して歌わせたいときは、校庭で十分な距離を取ったり、背中合わせにしたりすることで、マスクを外して歌える。</u></p> <p>・音楽づくり等で打楽器を有効に活用する。使用後は必ず消毒する。</p> <p>・楽典を先にしっかりと学ばせる。</p> <p>・リズムづくりは手や足を使って表現する。</p> <p>・低学年は、校歌など、繰り返し流して覚えるようにする。</p>	<p>・グループ学習(鑑賞の話し合い等)は実施せず、ワークシートに記入する。</p> <p>・電動糸鋸機等の共有する道具は使用後必ず消毒する。並んで使用を待つ時は1~2m開ける等の工夫をする。</p> <p>・家庭学習を有効に活用して作品づくりを進める。</p>	<p>・しばらくは、前向き形態で実施する。</p> <p>・映像や画像を見せるなどの工夫をして、学習を深める。</p> <p>・ワークシートを活用し、自分の考えを記入してから短い時間で話し合う。</p>	
<p>◆調理実習やリコーダーの演奏・合唱等は、学級を2つに分け、<u>児童同士の距離を十分に取ることで実施可能。</u></p> <p>◆音楽と図工、家庭科ワークを組み合わせるなど、片方のグループは自習ができる学習とし、学習サポーターや生活指導員に見守ってもらうようにする。</p>											

「感染症対策を講じてもお、感染リスクが高い学習活動」

「近距離で一斉に大きな声を出す活動」  
「接触・密集する運動」「組み合ったり接触したりする運動」  
「近距離で活動する共同制作や鑑賞の活動等」  
「近距離での活動」

現時点では、まだこれらの活動は避けたほうがよいです。

「近距離でする実験や観察」  
「合唱・リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏」  
「調理実習」

表面を参照。十分に感染予防しながらできる方法を職員間や児童で話し合い、アイデアや知恵を出し合っていることから取り組んでいきましょう。

児童同士の距離を取ることや、マスク着用・飛沫防止スタンドの使用は、接触感染・飛沫感染の危険性をできるだけ避けることが目的です。児童にも意味をしっかりと伝えてください。

- ◆これまで先送りしてきた学習内容については、学校で学習しなければならないことと家庭学習でできることを明確にし、保護者の皆様のご理解を得ながら実施していく必要があります。
- ◆授業時数確保が目的ではなく、学習内容を精選して、児童に当該学年で求められる力を身に付けることを念頭に、指導をお願いいたします。
- ◆生徒指導部・道徳推進担当から提示された「コロナいじめ防止等」についての資料をもとに、感染症に対して正しく理解し、まちがった認識での言動をなくすよう、道徳科や学級指導で必ず指導をお願いします。
- ◆全体的にあいさつができなくなっています。大きな声を出さなくても、相手の方を向いて、目を合わせて会釈するなどのあいさつの指導もお願いいたします。

◆これからの季節の換気の対応について◆

- 教室対角の上の窓2カ所を、常時 20 センチ程度開けておく。児童の席が固定されているので、開ける場所を時々換える配慮をする。
- 授業と授業の間に必ず窓や戸を1～2分程度全開にし、室内の空気を入れ替える。
- 換気をしなければならないので、室内での上着やひざかけ・座布団の使用を許可する。
- 上着の袖が汚れるなど不衛生なことが気になる場合は、上着がなくても重ね着等、暖かい服装をしてくるよう指導する。

